

# 平成 28 年第 2 回西海市議会定例会

## 市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
6月14日(火)	1	1	小 嶋 俊 樹 議員	1
	2	2	岩 本 利 雄 議員	2
	3	3	瀧 瀬 栄 子 議員	2
	4	4	佐々木 義信 議員	4
	5	5	渡 辺 督 郎 議員	5
6月15日(水)	6	1	永 田 良 一 議員	6
	7	2	田 口 昇 議員	7
	8	3	平 野 直 幸 議員	8
	9	4	朝 長 隆 洋 議員	9
	10	5	浅 田 直 幸 議員	9
6月16日(木)	11	1	杉 澤 泰 彦 議員	10
	12	2	中 尾 清 敏 議員	11
	13	3	戸 浦 善 彦 議員	13
	14	4	井 田 利 定 議員	14

## 1. 小 嶋 俊 樹 議員

### 質問事項 1

#### ふるさと納税について

#### 質問の要旨

総務省はふるさと納税について3つの大きな意義を掲げている。

寄附先の選択により、使われ方を考えるきっかけになり、税に対する意識が高まること、地域の力になることができるため、人を育て、自然を守り、地方の環境を育むことができること、自治体間の競争が進み、選ばれる地域となるために在り方を改めて考えるきっかけになることの3点であり、いわゆる地方創生の確立である。

そこで次の4項目について伺いたい。

- (1) H27年度の件数と収納額、H28年度における政策への予算配分（事業別）について伺いたい。
- (2) 現行の地方交付税制度のもとでは、地方公共団体が寄附金を受けても、当該団体の地方交付税が減少することなく、寄附者の住所地の地方公共団体においては、個人住民税減少分の75%は基準財政収入額に反映されると認識しているが、間違いはないか。また、本市市民による他市への寄附の有無について、また、企業版ふるさと納税の推進について伺いたい。
- (3) 本市における寄附金の活用方は、自然環境の保全、観光振興、子育て支援など、様々な使い道が示されている。事業の在り方について、行政と市民との間で共有できていると考えているか伺いたい。
- (4) 返礼品である特産品の開発について、今後どのような計画がなされているのか伺いたい。

### 質問事項 2

#### 下水道事業について

#### 質問の要旨

最近、下水道の整備（管理）について、老朽化に関する今後の課題が提起された。財務省は、現在9,000億である経費が1兆を越す事が判明したため、国土交通省に使用者に対する値上げを要請したと発表。

この事を受けて、国土交通省は、下水道経営の健全化に向けた地方公共団体への支援を開始し、「下水道経営支援アドバイザー制度」を創設した。国の方針もふまえ、当市の今後の事業計画について伺いたい。

## 2. 岩 本 利 雄 議員

### 質問事項 1

#### 主要企業定住促進環境整備事業について

#### 質問の要旨

- (1) 市内主要企業従業員を対象とした定住対策で、しかも民間による社員向け住宅整備を促進しようとする理想的な事業である。現在までの取組み状況を問う。
- (2) 電源開発（株）松島火力発電所とダイヤソルト（株）の、定住促進に向けた今後の事業計画について伺う。

### 質問事項 2

#### ふるさと納税について

#### 質問の要旨

- (1) ふるさと納税は自主財源の確保、地域の活性化、認知度の向上といった長所があり、爆発的な効果を得ている自治体が多くなっている。ふるさと納税に対する取組みをもっと強化すべきと考える。今後の取組み方針について問う。
- (2) 平成 28 年度の税制改正によって、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）が創設されているが、どのような取組みをしようとしているのかを問う。
- (3) 平成 28 年熊本地震によって甚大な被害をこうむった自治体は、職員不足から本来の事務作業が手薄となっている。そういった自治体を支援するための、ふるさと納税代理受付業務を引き受けるなど、事務支援を検討できないか。

## 3. 刈 瀬 栄 子 議員

### 質問事項 1

#### 消防団について

#### 質問の要旨

平成 25 年 12 月 13 日に公布・施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を踏まえた本市の状況について次の点を問う。

- (1) 消防団の装備の基準が改正され、全ての消防団員に配備することとなっている安全靴・ライフジャケット・防塵マスク等の配備状況及び全ての分団に配備することとなっている救助活動用機材の配備状況は。
- (2) ヘルメットの耐用年数は 5 年となっているが、その更新と配備状況は。
- (3) 消防団員の処遇について、地方交付税単価として、年額報酬 36,500 円、費用

弁償 7,000 円となっているが、本市の年額報酬は 22,000 円、費用弁償は 2,500 円（4 時間を超える場合は 5,000 円）となっており金額に開きがある。引き上げるべきではないか。

- (4) 平成 26 年 4 月 1 日以降に退職した場合に、消防団員等公務災害補償等共済基金等が市町村に支払う消防団員退職報奨金支払額が一律 5 万円増額されているが、本市の場合も同様の対応がなされているのか。
- (5) 老朽化が著しい消防団格納庫や詰所があり、早急な整備が必要であると思うが、いかがお考えか。
- (6) 地形的に道路幅が狭い地域が多いことから、軽消防自動車や台車の整備が必要であると思うが、その保有台数と購入計画は。
- (7) 消防団加入促進の取り組みが行われていると思うが、「市民と議会のつどい」において、市職員の消防団への関わりについて、意見が寄せられた。「地方公務員への加入促進（平成 25 年 11 月 8 日総務大臣書簡発出）」を受けた本市の対応はいかがか。

## 質問事項 2

### 防災マップについて

#### 質問の要旨

平成 26 年 9 月定例議会において、避難所や避難経路などをまとめた防災マップの作成を提案したところ、「安全安心課で危険箇所を中心に行政区単位の防災マップを作成中」との答弁であった。

また、「地域住民とも協議を重ねながら充実した内容にしたい」とのことであったが、防災マップの完成と市民への配布は、いつになるのか。

## 質問事項 3

### 避難所について

#### 質問の要旨

- (1) 平成 26 年 9 月定例議会において、「市内の小・中学校や公民館などの公的施設や場所を避難所として選定しているが、安全確保等についての点検は不十分である。早急に調査を行い、より安全に避難でき、また、避難所での一定の生活環境を確保できる場所や施設を指定していきたい」との答弁であった。

点検結果と指定状況及び整備状況について伺う。

- (2) 同定例議会で、避難所でありながら雨漏りがひどいと指摘した崎戸本郷地区公

民館の施設の改善が未だなされていないとの声が、先日の「市民と議会のつどい」で寄せられたので対応を伺う。

#### 質問事項 4

##### 雪浦川水系河川整備について

##### 質問の要旨

- (1) 雪浦川水系河川整備計画(案)が示され、市長が意見を述べる段階に来ていると思うが、市議会への説明は予定されているか。
- (2) 奥浦河川公園の環境悪化を指摘する声が寄せられているが雪浦川水系河川整備計画に反映されるのか。
- (3) 平成 28 年 5 月 17 日に閣議決定した 2016 年版水環境白書の中で、ダムの耐震化が不十分との認識が示されているが、昭和 52 年に完成した雪浦ダムの耐震性は大丈夫か。

#### 4. 佐々木 義信 議員

##### 質問事項 1

##### 西海市人口ビジョン 3 万人達成への具体的取組みと対策について

##### 質問の要旨

2060 年に人口 3 万人を維持する目標は、人口減少が進む中では、かなりハードルは高い。

西海市まち・ひと・しごと総合戦略で基本目標を確立しているが、目標達成のための具体的な取組み内容について次の点を伺う。

- (1) 教育行政について
- (2) 働く（企業誘致など）について
- (3) 医療問題（対策）について
- (4) 住宅対策について

##### 質問事項 2

##### 水道水の軟水化対策について

##### 質問の要旨

市内の一部地域にあっては、水道水が硬水のため、日常生活に支障が生じている。

水道水の軟水化対策が必要と思うが、市長の考えを伺う。

### 質問事項 3

#### 農業政策について

#### 質問の要旨

- (1) 1月の記録的寒波で露地ビワが大きな被害を受け、ビワ農家は甚大なダメージを受け、県では、対策事業が検討されている。今後のビワ栽培の振興には、適地での栽培が検討されるべきと考える。市の対策について伺う。
- (2) 小・中規模基盤整備への今後の取組み、考え方について伺う。

## 5. 渡 辺 督 郎 議員

### 質問事項 1

#### 西海市総合計画の策定について

#### 質問の要旨

- (1) 策定について、今後どのように進めていくのか。
- (2) 市長が考えている重要施策について伺う。
- (3) 国土交通省がいう『小さな拠点』づくりの視点というのは、西海市にも重要な施策になりうると思うが市長はどう考えるか。
- (4) 現在進められている後期総合計画の「人と自然にやさしい農林業の推進」の中に、有機農業の推進とあるが、これまでほとんど推進されていない。安心、安全、健康志向から、有機農産物に対する社会の需要は高いと考えるが、現状で本市の農業政策がそういう方向に向いているとは思えない。次期総合計画の中では、どのように位置付け、どう推進していくつもりか伺う。

### 質問事項 2

#### 有機農業の推進について

#### 質問の要旨

- (1) 市内でも有機農業を実践している個人、企業などがあるが、市はどの程度、把握しているのか。
- (2) 有機農業を振興する上で、実践している企業、個人のネットワーク化は必要不可欠と考えるが、如何か。
- (3) 実践している企業の中には、技術の無償提供についても、地域のためになるなら喜んで提供できると言っている。西海市の有機農業振興のため、公民連携で取

組むことができないか、伺う。

### 質問事項 3

地域おこし協力隊について

#### 質問の要旨

- (1) 地域おこし協力隊について、これまでの事業をどう評価して、今後どのように事業を展開していくつもりか、伺う。
- (2) 地域が抱える課題解決型として、より地域に根差した活動にすべきではないか。活動終了時に、独立起業できるような姿を思い描ける案件を形成することが肝要だと思うが如何か。

## 6. 永田良一 議員

### 質問事項 1

18歳選挙権について

#### 質問の要旨

昨年の公職選挙法改正により選挙権が18歳から引き下げられ、今夏の参議院選挙から適用されることとなっている。若い世代の政治への関心を高めるためには、選挙制度の理解に向けた積極的な取組みが必要と考えるが、現在、本市ではどのような啓発活動がなされているか。

また、市内3つの高校をはじめ、高校生（18歳）への対応について検討がなされているか伺いたい。

### 質問事項 2

大島町ひょうたん池の管理について

#### 質問の要旨

大島町間瀬地区にあるひょうたん池には下水が流れこみ、悪臭を放つ池となっている。設置しているポンプの役割等も不明であり、現在の対応状況について伺いたい。

なお、現状を見ると、早急に何らかの対策を講じるべきであると思われるが如何か。

### 質問事項 3

地域おこしについて

## 質問の要旨

新たな地方創生の取組みにおいては、将来を担う若者達の意見を十分に反映させる必要があると考える。地域の活性化を目指し、自由な発想で活動する若者達のグループをつくる考えはないか。また、グループの交流等により、新たな「出会いの場」としての効果も期待できると思うがどうか。

なお、市内旧各町の18歳から40歳までの男女で、未婚者の数を把握しているか伺う。

## 7. 田口昇議員

### 質問事項1

「ポートホールン長崎」のオープン後の状況と課題について

#### 質問の要旨

- (1) 市民交流型観光施設「ポートホールン長崎」がオープンして2か月。大型連休期間は予想を上回る入場者で賑わったが、その後の状況について伺う。
- (2) 釣り堀やシーカヤック等、海を活用した事業展開が計画されていたが、海面使用の合意が間に合わず、マリンレジャーの計画も宙に浮いたままとのこと。対応について伺う。
- (3) 西海市、ホーランドビレッジ、西彼町漁協の3者による海面運営協議会の立ち上げを提案しているとのこと。進捗状況について伺う。

### 質問事項2

樹園地基盤整備事業について

#### 質問の要旨

(白崎地区)

- (1) 平成28年度に認可があり、先日、土地改良区の設立総会が開催され、いよいよ事業がスタートすることになった。事業概要について伺う。
- (2) 樹園地の基盤整備事業については、県下でも画期的な取組みであるが、永年作物で品種の選定等の研究に苦労も多いと考えられる。方策を伺う。
- (3) 高品質みかんの生産にはシートマルチが欠かせないが、流末排水対策は万全か。
- (4) 畑灌用の水源確保等について伺う。
- (5) 苗木の導入と確保等について伺う。

(小迎地区)

事業の概要と進捗状況について伺う。

## 8. 平野直幸議員

### 質問事項1

#### 人口減少の克服と地域創生について

#### 質問の要旨

平成27年10月策定の「まち・ひと・しごと総合戦略」及び「2060年西海市人口3万人ビジョン」の達成には、当面10年程度の計画と40有余年後の将来を展望した計画が重要となる。この計画の性格は、止めどなく人口減少克服及び地域創生につながるものが課題であると認識する。

また、この目標となる計画は、地域コミュニティ形成に結実させ、地域社会、とりわけ自治会での取組みにもつながる内容であることが求められる。

そのためには、西海市人口ビジョン及び総合戦略を市民の計画として浸透させる手法を講じつつ、集合体の地域が能動的に行動・参加する地域自治の創生が重要と考える。

次の点について所信を伺う。

#### (1) 本市の地域特性に鑑み各5町の活力に期待する観点から

- ① 仮称「〇〇地域創生協議会」を設置し、地域の課題に取り組んではどうか。  
(地域が主役の創生会議創設)
- ② この地域ごとの協議会には活動予算を付け、市役所職員を配属(総合支所の職員を地域担当として活用)してはどうか。

#### (2) 人口減少克服の計画を具体化し、到達度を検証する観点から

- ① 人口の増加施策ごとに数値目標を設定してはどうか。
- ② 市内5町での定住・移住の構想を策定してはどうか。

#### (3) 住宅団地を整備する観点から

- ① 新たな民間主導の宅地・アパート建設等の支援に関するプランはどうなっているか。
- ② 市内で適地と言われる八木原・小迎周辺での住宅団地を計画してはどうか。

#### (4) 定住施策を進める上で、医療は市民の暮らしにとって最重要課題であるとの観点から

- ① 現在、市民の医療の受診に課題はないか。
- ② 市民の医療・保健・福祉の充実を見通した「西海市版・医療プラン」の策定が必要ではないか。

## 9. 朝 長 隆 洋 議員

### 質問事項 1

#### 第 2 次総合計画の策定における考え方と進め方について

#### 質問の要旨

本年度、第 1 次総合計画の最終年度となり、第 2 次総合計画の策定に向けて取り組んでおられるが、40 年後に 3 万人の人口ビジョンを掲げ、スタートダッシュを進めると県内に示した本市にとっては絶対につまずくことのできない、説得力のある計画でなければならない。

人口減少がこの 10 年間でかなりのスピードで進んできた現実、しっかりと目を向けると、第 1 次総合計画の総括とともに、過去の計画並びに計画推進の方法、行政の在り方、市民協働の在り方全てをゼロベースで見直す必要があると考えられる。

3 万人の市民が努力できる環境を整えなければ、300 人の職員が努力しても 1 % の成果しか上がらない。状況は常に移り変わっている。第 2 次総合計画において市民のおかれている現実を的確に把握し、その中で、市民が努力できる環境を整えられる内容であるかとの観点から、次の事について伺う。

- (1) 基本的コンセプトは何か。
- (2) 職員の意識改革とその進め方は。
- (3) 農業政策をどう進めるか。また、農業振興公社ならびに農協との連携をどう進めるのか。
- (4) 福祉政策における社会福祉協議会に対する考え方と、今後の連携は。
- (5) 公共交通に対する今後の進め方は。
- (6) 市民の人材育成をどう進めるのか。

## 10. 浅 田 直 幸 議員

### 質問事項 1

#### 崎戸町の懸案事項について

## 質問の要旨

崎戸町が現在抱えている下記の懸案事項について伺いたい。

- (1) 崎戸中学校跡地の利活用については、期待できる状況なのか。
- (2) 集合店舗で営業している店舗が、現在1店舗の状況であるが、公募されているのか。
- (3) 土井の浦の避難港としての係留施設整備を漁民の皆さんが望んでいるが、取付道路の整備に着手することはできないか。
- (4) 潮流発電実証フィールドの海域に選定されて2年経つが、進捗状況を伺う。
- (5) 平島地区において、インターネット回線の不具合を訴えられているが、確認されているか。
- (6) ホテル咲き都、RV村施設の今後について市としてどう考えているか。

## 質問事項2

### 観光行政について

#### 質問の要旨

旧長崎オランダ村が再生され、ポートホールンとして開業された。西海市の観光の核となって観光客や交流人口の増加、また、消費の拡大に期待するところである。同時に、そこに集まった人々に七ツ釜鍾乳洞や大島、崎戸まで足を伸ばしてもらえようような流れをつくる施策を展開してこそ、核としての存在意義があると考えているが、今後の展開について、伺いたい。

## 質問事項3

### 日本代表選手に対する支援と応援について

#### 質問の要旨

リオデジャネイロ・パラリンピックの車いすバスケットボール男子の日本代表の12人の内定選手枠に、大崎高校の生徒が入った。いよいよ、本番に向けて本人も気を引き締めて練習に取り組んでいることは言うまでもない。そこで、西海市の誇りでもあり、市として何らかの支援と応援を計画し、市全体で盛り上げていければと思うが、如何お考えか伺いたい。

## 11. 杉 澤 泰 彦 議員

### 質問事項1

## 国境離島新法成立に伴う江島・平島への施策について

### 質問の要旨

去る4月20日に「有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法」、いわゆる国境離島新法が成立した。この法律は、我が国の領海、排他的経済水域等の保全等に関する活動の拠点としての機能を維持するため、領海基線を有する有人国境離島地域においてはその保全のための措置、また、特定有人国境離島地域に対しては地域社会の維持に関する特別の措置を講ずるとした時限立法である。

西海市では江島・平島が特定有人国境離島に指定され、今後の島の維持と再生に向けた様々な事業展開が期待される。

そこで、次のことを伺いたい。

- (1) 来年の施行に向けた西海市の取組みについて
- (2) 西海市が考える重点項目は何か。
- (3) 島民の声をどのように集約していくのか。
- (4) 島の施策の立案、情報交換等に係る専門部署若しくは職員配置の必要性について
- (5) 対馬市、壱岐市、五島市、小値賀町、新上五島町との連携の必要性について

### 質問事項2

#### 西海市人口ビジョン「2060年30,000人」の捉え方について

### 質問の要旨

昨年、西海市人口ビジョンが策定された。その中で目標人口を30,000人としているが、この目標についてどのように解釈すべきなのか理解しがたい。

そこで、次のことを伺いたい。

この「2060年30,000人」は、必ず実現すべき政策目標なのか、それとも、途中で変更も有り得る努力目標なのか、あるいは後世に繋ぐべき市のスローガンの、掛け声的なものなのか。仮に、これら以外の解釈があるとするならば、それを伺いたい。

## 12. 中尾清敏議員

### 質問事項1

#### 観光振興について

### 質問の要旨

- (1) 七釜鍾乳洞界隈の利活用計画Aゾーンの進捗状況は。
- (2) 旧七釜鍾乳洞観光ホテル跡地には、100人程度入居可能な宿泊施設、浴場がある。施設を整備し、修学旅行誘客、観光交流人口の拡大により、地域活性化を早急に進める必要があると思うが、考えを伺う。
- (3) 平成26年9月定例会一般質問において、西海オレンジロードから七釜鍾乳洞へ通じる道路の一部に狭隘な部分があるが、七釜鍾乳洞へのアクセス改善の効果も見据えながら、当該部分の道路拡張を実施する計画はないのかとの質問に、改良工事の必要性を検討する答弁であった。その後の検討結果を伺う。
- (4) 1月29日、西海東小6年生36人が市長と交流し、西海市の未来像などについて提言した新聞記事があった。そこでは「中浦ジュリアン祭など新しいイベントを開催すれば、町は盛り上がる」などの提言が紹介されていた。  
子供たちの貴重な思いを述べたすばらしい提言だと思うが、市長の見解を伺う。  
また、この提言を市政に反映させる考えはないか伺う。

## 質問事項2

### 農業振興策について

#### 質問要旨

- (1) JA全中の調査で、地方創生に参画するJAの割合が6割を超えている。JAと行政の関係は総合戦略のパートナーとして欠かせない。総合戦略でJAとの連携を伺う。
- (2) 毎年3月10日は「農山漁村女性の日」である。女性は地域農業の振興、農業経営の発展、6次産業化の展開に重要な役割を担っている。  
農水省が推奨する「家族経営協定」を締結すると、女性の活躍に向け、仕事と家事、休息をバランスよく配分する事が約束され、役割分担と経営参画を明確にする事ができる。この「家族経営協定」について積極的に啓発すべきと思うがどうか。

## 質問事項3

### 危険空き家、公営住宅の管理について

#### 質問要旨

- (1) 現実問題として、市内には周辺住宅環境を悪化させる危険な空き家が見受けられる。早急な解体等の対応が必要だが、市の除却支援事業だけでは不十分である。安全安心なまちづくりを実現する為に、解体、除却を支援する更に有効な方法は

ないか伺う。

- (2) 市営住宅等入居者募集に 120 戸の空き家があるが、全て入居可能な状態か。
- (3) 敷金は家賃の 3 か月分であるが、どう取り扱っているのか。
- (4) 熊本地震に伴う困窮者の入居を受け付けているが、入居状況は。

### 13. 戸 浦 善 彦 議員

#### 質問事項 1

西海市民が不安と不満なく、子どもを産み、育て、安心して、暮らしていける生活と環境の基盤整備について

#### 質問の要旨

- (1) 西海町における今後の上水道事業について

本年 1 月末の大雪の際、西海町面高地区(西海町給食センター周辺他)はなぜ、断水解消が最後になったのか。

また、米軍基地がある西海町は、上水道整備においても特に配慮が必要な地域であると考えます。今回の問題を踏まえ、今後の上水道整備計画について伺う。

- (2) 沖縄の米軍関係者の痛ましい事件を踏まえ、同じく基地を受け入れている当市市民も不安を抱えている。西海市として、何か対応されたのか伺う。
- (3) 未だ余震が続く「平成 28 年熊本地震」など、近年、想定できない自然災害が起きている。生活道路の落石危険箇所や住宅地裏山からの落石、また、大雨による濁流の災害危険箇所の把握は、市としてどこまで出来ているのか。そして、その対策は。
- (4) 市役所における申請手続等について、昨年度末から今年度始めにかけて、一部処理の遅れや不備があり、市民から不満と不安の声があった。  
また、障がい者の方の自動車税減免について、県税である普通自動車税の申請が買い替えるまで有効であるのに対し、市が課税する軽自動車税は毎年申請をしなければならず、不便であるとの声がある。  
これらの問題を踏まえ、事務手続の簡略化や迅速化、制度、条例の見直しも含めて、市としてどのようにお考えか伺う。
- (5) 旧長崎オランダ村 B ゾーンのような普通財産の賃借料算定には、取得価格や減価償却基礎額などを用いると聞くが、その通常の方法で算定した場合の賃借料はいくらか。そして、その算定基礎の詳細を伺う。

また、3 月議会閉会后、市と旧長崎オランダ村施設管理運営会社との間で取り

交わされた使用貸借契約によって、貸借料を無償とした上で、契約期間を 10 年間とした根拠は何か伺う。

#### 14. 井田利定議員

##### 質問事項 1

西海市まち・ひと・しごと総合戦略及び西海市人口ビジョンについて

##### 質問の要旨

###### (1) 住環境の整備について

- ① 総合戦略及び平成 29 年度からの第 2 次西海市総合計画等により整備される市営住宅の整備計画（新築・建替）の内容について伺う
- ② 5 月末現在の高齢者（65 歳以上のみ）の世帯数及び人口は。また、市全体に占めるその割合について伺う。
- ③ 若者の定住促進に関する具体的な政策について伺う。  
また、特公賃住宅及び市単独住宅の各町別戸数及び入居戸数について伺う。

###### (2) 空き家対策について

- ① 空き家を活用した移住促進等の成果について伺う。
- ② 空き家対策推進特別措置法が施行され 1 年を経過するが、特定空き家に指定された件数とその後の対応について伺う。

##### 質問事項 2

旧長崎オランダ村施設（Bゾーン）再生事業について

##### 質問の要旨

- (1) 平成 28 年 4 月 16 日、管理運営会社によりポートホールン長崎として営業が開始されてから、約 2 か月が経過したが、運営状況等について報告を受けているか伺う。
- (2) マリンレジャー事業が未だ実施されていないようであるが、市に提出された事業計画と現状との相違点を市は把握しているか。